

市内の中学生が野球を通じて交流

本市では、国際化の進む社会のさまざまな分野で活躍できる子どもの育成や、交流人口の拡大によって地域を活性化させることを目的に、台湾との交流事業を昨年度から推進しています。昨年度は、中学生野球交流事業や台湾の高校生の教育旅行の受け入れなどを行いました。

今回は、市内の中学生14人が、杉並区で開催された「交流自治体中学生親善野球大会」に参加し、言葉も文化も歴史も異なる国「台湾」と交流自治体の杉並区、災害時相互援助協定を結んでいる福島県南相馬市、静岡県南伊豆町の中学生たちと親善試合や交流会などを通じて、お互いに交流を深めました。

市内2校で構成された「チーム名寄」は、9月18日の結団式以降、2回の事前学習会と3回の合同練習を行い、親善野球大会への準備を進めてきました。大会では、参加チームと4試合行ったほか、交流会で名寄市のPRやよさこいを披露するなど他地域・他国との交流を深めてきました。

日程

- 10月11日(土)
名寄出発
東京観光
交流夕食会
- 10月12日(日)
開会式 元プロ野球選手
宮本慎也さんのミニ野球教室
試合(台湾長安、杉並^{ウエスト})
- 10月13日(月)
試合(台湾大理、杉並^{イースト})
閉会式
- 10月14日(火)
杉並区出発、名寄到着

交流夕食会でよさこいを披露



開会式



初日に東京を観光



試合のようす



試合のようす



元プロ野球選手の宮本さん、坂元さんと記念撮影



試合のようす



野球殿堂博物館



交流を深めてきました

10月14日に大会の出場報告をしました！

参加した14人のうち、三宅悠斗くん、浦山大介くん、湯川楓くん、伊川凌己くん、中村來希くんの5人が名寄庁舎で加藤市長と小野教育長に報告をしました。生徒たちは一人ずつ「始めはなかなか交流できなかったがだんだんできるようになった」「台湾の人の体格がうらやましかった」「試合で凡ミスなどがあって学ぶところが多かった。もっと練習で自分の実力を向上したい」などそれぞれ発表し、「このような企画を考えてくれたいろいろな人に感謝します。ありがとうございました」と述べていました。

